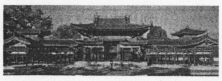
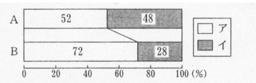
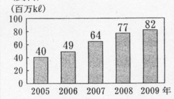
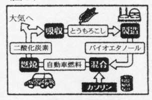
「かかわりの知」による関係構築分析枠組

評価問題の種別	年次	実施範囲	対象学年	出題総数	検査時間	備考
福岡県立高校入試問題	平成24年 3月	中学校社会科全部	3年	55問	50分	

フェイズ	関係構築要素	出題事例	該当数	備考
フェイズA 社会事象間の関係 （係わり） **関連性** 社会認識内容としての関係　･･･事実／価値	① 要素の事実認識 ② 個別的**関係認識** ③ 概念的**関係認識** ④ 価値**関係認識**	1 略年表と資料をみて，各問に答えよ。 問1 よく出る 次の①，②の人物に最も関係があるできごとを，略年表のA～Fから一つずつ選び，記号で答えよ。(2点) ① 後鳥羽上皇（ごとばじょうこう） ② 天智（てんじ）天皇 問2 次のa～cは，略年表のア～カのいずれかの時期の社会の様子を示している。a～cがあてはまる時期を一つずつ選び，記号で答えよ。(各1点) 〈略年表〉 時代／おもなできごと 古代　A 大化の改新が行われる　（ ア ）　B 平安京に都が移される　（ イ ）　C 院政がはじまる　（ ウ ） 中世　D 承久の乱がおこる　（ エ ）　E 応仁の乱がおこる　（ オ ） 近世　F 江戸に幕府が開かれる　（ カ ）　〔 X 〕が結ばれる a 本百姓（ほんびゃくしょう）の中には，土地を集めて地主になる者や土地を失って小作人になる者があらわれた。 b 京都では，町衆（まちしゅう・ちょうしゅう）が中心となって町ごとの団結を強めて自治を行い，祇園祭（ぎおんまつり）を復興した。 c 農民には口分田（くぶんでん）があたえられたが，やがて口分田が不足してきたため，新しく開墾した土地であれば永久に私有することが認められた。 問3 次の文は，下の資料の建築物が建てられた時期の社会の様子について述べたものである。文中の(P)，(Q)にあてはまる語句を，後のあ～えから一つずつ選び，記号で答えよ。また，この建築物が建てられた時代を，略年表の古代，中世，近世から一つ選び，語句で書け。(2点) (P)のころ，社会不安が高まったため，阿弥陀仏（あみだぶつ）にすがる(Q)がおこった。 〈資料〉  あ 浄土信仰（じょうどしんこう）　い 禅宗（ぜんしゅう） う 執権（しっけん）政治　え 摂関（せっかん）政治 問4 よく出る 次の文は，略年表の〔 X 〕にあてはまる条約について説明したものである。〔 X 〕の条約名を書け。また，この条約をきっかけにはじまった欧米諸国との貿易の特色の一つを，「関税自主権が」の書き出しで「綿織物」の語句を使って書け。(X1点，記述2点) この条約は，日本で罪をおかしたアメリカ人を日本の法では裁くことができないなど，日本にとって不平等な条約であった。		1の歴史問題は全問<u>①要素の事実認識</u>であり，暗記の再現で解答可能（左事例参照）。 4資料問題は単に<u>①要素の事実認識</u>であり，暗記の再現で解答可能。
フェイズB 認識主体間の関係 （関わり） **他者性** 社会認識方法における<u>**他者性**（相互作用）としての関係</u>　･･･**アーギュメンテーション**	① 他者への自己認識の説明 ② 他者認識の活用（引用・援用・批判・妥協・調整など） ③ 討論など他者との直接的な対話的交渉	5 次郎さんは，「これからの日本の社会保障制度」をテーマにレポートを作成した。レポートを読んで，各問に答えよ。 日本の社会保障制度は，おもに①税や保険料を財源として国民の生活水準の向上に役立ってきた。かつては給付水準をめぐる②裁判もあったが，経済成長によって給付水準を引き上げることができた。しかし，現在は次のような課題を抱えている。 ・a保険料収入が減少していくこと。 ・b社会保障にかかる費用が増加していくこと。 これらのことから，国や，③地方公共団体が，社会保障の給付水準を維持することが難しくなると予想されている。これからの社会保障の充実に向けて，④景気の変動等に左右されにくい財源の確保や公平な負担のあり方について議論されている。 問1 やや難 下線部①について，次の各問に答えよ。 (1) 次の資料は，日本とドイツの直接税と間接税の比率を示している。A，Bは，日本またはドイツのいずれかで，ア，イは，直接税または間接税のいずれかである。日本と直接税を示すのはどれか，それぞれ選び，記号で答えよ。(1点) 〈資料〉  資料は，2007年の統計で，国税と地方税を合計した比率を示す。 （2011/12年版「日本国勢図会」等から作成） (2) 次の文は，日本の所得税について説明したものである。文中の㋑，㋺の（　）にあてはまる語句を，一つずつ選び，記号で答えよ。また，文中の（㋩）にあてはまる語句を書け。(2点) ㋑（P国税，Q地方税）である所得税は，所得の㋺（R高い，S低い）人ほど税率が高くなる（㋩）課税の制度がとられている。		5次郎さん作成のレポートに対する問いであり，<u>②他者認識の活用</u>の問題であるが，次郎さんと他の誰か，あるいは次郎さんと解答者など，相互作用としての認識主体間の関係，つまりアーギュメンテーションとしての認識が求められていない（左事例参照）。
フェイズC 社会事象と認識主体の関係 （拘わり） **状況性** ○参加を促す<u>状況（課題に向かう目的）提示としての関係</u>　･･･**パフォーマンス課題**	① 社会論争問題としてのパフォーマンス課題･･･現実社会への参加要請 ② 学習活動遂行としてのパフォーマンス課題･･･共に学ぶ社会への参加要請	2 優子さんは，日本の近現代におけるおもなできごとを，次のA～Dのカードにまとめ，それぞれに見出しをつけた。カードをみて，各問に答えよ。 A デモクラシーと世界大戦　○ 本格的な政党内閣が成立する。　○a 大戦がはじまり，好景気となる。 B 民主化と経済成長　○ 日本国憲法が施行される。　○b 高度経済成長がはじまる。 C 近代国家の成立　○ 自由民権運動が広がる。　○ 産業革命がはじまる。 D 世界恐慌の影響　○ 五・一五事件がおこる。　○c 不況が農村に打撃をあたえる。 問1 よく出る 次の①，②のわが国のできごとに最も関係があるカードを，一つずつ選び，記号で答えよ。(各1点) ① 自由党や立憲改進党（りっけんかいしんとう）がつくられた。 ② 女性の選挙権がはじめて認められた。 問4 下線部cについて，その原因の一つを，「アメリカ」と「生糸」の語句を使って書け。(2点) 問5 優子さんは，新たに次のカードを作成した。このカードは，A～Dを時代が古い方から順に並べかえたとき，どれとどれの間に入るか，前のカードと後のカードを，記号で答えよ。(2点) 国民生活の統制　○ 大政翼賛会が発足する。　○ 生活必需品が配給制になる。 6 香織さんは，とうもろこしなどを原料として作られるバイオエタノールについて考えるために資料と図を作成した。資料と図をみて，各問に答えよ。 問1 資料は，世界のバイオエタノールの生産量の変化を示し，図Ⅰは，バイオエタノールの製造から利用までの流れを示している。資料と図Ⅰを読み取り，バイオエタノールの生産量が変化することでもたらされる効果を，「石油」と「二酸化炭素」の語句を使って書け。(2点) 〈資料〉  （平成23年版「食料・農業・農村白書」から作成） 〈図Ⅰ〉  （平成22年「こども農林水産白書」等から作成） 問2 やや難 図Ⅱは，バイオエタノールを生産することの課題の一つを示している。(ア)，(イ)にあてはまる語句を書け。また，［A］にあてはまる内容を，「食料の国際的な価格が」の書き出しで，「貧困」と「食料」の語句を使って書け。((ア)(イ)各1点，記述2点) 〈図Ⅱ〉 バイオエタノールの原料用のとうもろこしの需要が（ア）する。 ↓ 食料用・飼料用のとうもろこしの供給が（イ）する。 ↓ A		2優子さんがカード作成･操作する学習状況が設定される。が，解答者への<u>②学習活動遂行としてのパフォーマンス課題</u>とはなり得ていない（左事例参照）。 3太郎さんの学習状況に無理矢理感を伴う。 5次郎さん作成のレポートへの問いが，解答者への<u>②学習活動遂行としてのパフォーマンス課題</u>とはなり得ていない。問2文章解答は暗記再現で解答可能。問3文章解答も暗記再現による語句選択の域を出ない（左上図参照）。 6香織さん作成の図から，問1バイオ燃料と石油節約の関係を導かせ，問2食用穀物不足が原因で貧困，饑餓の結果を導かせるが，深い思考を必要とせず，① 社会論争問題としてのパフォーマンス課題，つまり現実社会への参加要請とはなり得ていない（左事例参照）。